

第7回海老名プレミアム映画祭企画 「えびなビデオ大賞 2008」

作品を募集します

海老名プレミアム映画祭実行委員会では、同映画祭企画の一つとして実施する「えびなビデオ大賞2008」の作品を募集します。

▽テーマ 「えびなの魅力」(環境活動、特産品・名産品、産業、文化など) ▽資格 個人・グループが家庭用ビデオカメラで撮影した7分以内の作品(原作・音源その他に著作権のあるものはその使用が承認されていること)

▽選考 事前審査でグラブプリほか入賞作品を決定します。入賞作品のうち4点を「えびなビデオ大賞2008」イベント(10月18日 田・文化会館)で上映し、同日表彰式も実施。入賞作品

～市の魅力テーマに～

には賞品を贈呈します。
※応募作品は返却しません。また作品の著作権は主催者に帰属し、市および海老名商工会議所のイベント等で使用する場合があります。

▽申込 所定の応募用紙(市商工課と海老名商工会議所)に必要事項を記入の上、作品を収録した媒体を添付して、直接または郵送で同映画祭実行委員会「えびなビデオ大賞2008」事務局(海老名商工会議所内、〒243-0434上郷485-2、☎231・5865)へ。9月15日(日)必着。



特別障害者手当 障害児福祉手当

の案内

市では、次のとおり特別障害者手当と障害児福祉手当を支給しています(所得制限あり(下表)。申請には指定の診断書などが必要ですので、該当の方は障害福祉課へお問い合わせください。

特別障害者手当
▽対象 常時特別な介護が必要な在宅の20歳以上の特別重度障害者の方で、次の①～⑦のうち2つ以上に該当するか、同程度以上の重度な障害をお持ちの方
①両眼の視力の合計数値が0.04以下
②両耳の聴力レベルが100

デシベル以上
③両上肢の機能に著しい障害を持つ、または両上肢すべての指を欠くか両上肢のすべての指の機能に著しい障害を持つ
④両下肢の機能に著しい障害を持つ、または両下肢を足関節以上で欠く
⑤体幹の機能に、座っていることができない程度または立ち上がることができない程度の障害を持つ
⑥前①～⑤のほか、身体の機能の障害または長期間の安静が必要な症状が前①～⑤と同程度以上と認められる状態であり、日常生活の用事を行うことが困難な状態にある

▽対象 常時の介護が必要な在宅の20歳未満の重度障害児の方で、障害や症状が次の①～⑨のいずれかに該当する方
①両眼の視力の合計数値が0.02以下
②両耳の聴力が、補聴器を用いても音声を識別することができない
③両上肢の機能に著しい障害を持つ
④両上肢のすべての指を欠く
⑤両下肢が全く動かない
⑥両大腿を2分の1以上失っている

▽対象 常時の介護が必要な在宅の20歳未満の重度障害児の方で、障害や症状が次の①～⑨のいずれかに該当する方
①両眼の視力の合計数値が0.02以下
②両耳の聴力が、補聴器を用いても音声を識別することができない
③両上肢の機能に著しい障害を持つ
④両上肢のすべての指を欠く
⑤両下肢が全く動かない
⑥両大腿を2分の1以上失っている

▽対象 常時の介護が必要な在宅の20歳未満の重度障害児の方で、障害や症状が次の①～⑨のいずれかに該当する方
①両眼の視力の合計数値が0.02以下
②両耳の聴力が、補聴器を用いても音声を識別することができない
③両上肢の機能に著しい障害を持つ
④両上肢のすべての指を欠く
⑤両下肢が全く動かない
⑥両大腿を2分の1以上失っている

◇特別障害者・障害児福祉手当の所得限度額

扶養親族等の数	前年の所得額	
	本人(請求者)	配偶者および扶養義務者
0人	360万4000円	628万7000円
1人	398万4000円	653万6000円
2人	436万4000円	674万9000円
3人	474万4000円	696万2000円
4人	512万4000円	717万5000円
5人	550万4000円	738万8000円

以下扶養親族等の数が1人増すごとに本人の前年の所得額の場合38万円、配偶者等の場合21万3000円を加算

市政の現場から

現代は、「物が豊かな時代」といわれています。私が子どものころは、パソコンやゲームなど何も無い時代でしたから、近くの学校や空き地で暗くなるまで近所の子どもたちと野球や鬼ごっこなどをして遊んでいました。

子どもたちの居場所づくり

行政としても、子どもたちの居場所づくりを積極的に提供すべき時代であるという観点から、市教育委員会では全校で「あそびっ子クラブ」事業を実施しています。

また昨年は「子どもの年」

しかし今は、習い事などの事情もあり、子ども同士で遊ぶ時間が少なくなっています。このため、今の子どもたちには、多種多様なニーズに合わせた居場所が必要であると感じています。

と位置づけ、各種の事業を展開いたしました。好評を得た事業は、拡大を視野に入れながら継続的に実施するとともに、今後も子どもたちが求める事業を新規に取り組んでまいりたいと考えております。

このように、他の自治体

が取り組んでいる事業で良いものがあれば、市として

も積極的に取り入れるべく、検討してまいりたいと考えています。

このほかにもカブトムシ採集ツアーのように、子どもたちが自然を体験できる事業なども検討するとともに、各種団体と連携を

図り、一定期間にさまざまな事業を集中させることも検討しながら、子どもたちの居場所づくりを行ってまいりたいと考えております。

市長 内野 優

公民館講座

第2期セカンドライフ 生き生き塾

1回だけの参加もできます

「セカンドライフ生き生き塾」は、市民自らが企画した講座です。団塊・シニア世代の方、ふるさと海老名と一緒に自分探し、仲間づくりを始めませんか。1回だけの参加も可。今年度後期には、企画ごとに、サークルとして独立する予定です。

▽申込 往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・参加する回を明記して、8月20日(日)必着で〒243-0434上郷476-2中央公民館(☎231・9702、☎232・2299)へ。

回	日 時	テーマ・学習内容(定員)	講師(敬称略)	場 所
1	9月4日(日) 9時30分～12時	第1回健康生き生きウォーキング 講義&実技 (50人)	3033運動普及員 津守 晋ほか	保健相談センター3階
2	9月17日(日) 10時～12時	楽しく作って遊ぼう ～身近な物を使って～ (30人)	児童文化研究者 星野美津子	中央公民館3階
3	9月27日(土) 13時30分～16時30分	一緒に劇を演じてみませんか ～新しい自分発見～ (30人)	遊行座主宰 東の宮美智子	中央公民館2階
4	10月1日(日) 9時～15時	第2回健康生き生きウォーキング 海老名を歩く (50人)	3033運動普及員 津守 晋ほか	海老名中央公園集合 中央公民館解散
5	10月9日(日) 9時～16時	第3回健康生き生きウォーキング 路上観察会 (50人)	生き生き塾スタッフ 畑島富士子ほか	海老名中央公園集合 中央公民館解散
6	11月13日(日) 9時～15時	第4回健康生き生きウォーキング 綾瀬を歩く (50人)	3033運動普及員 津守 晋ほか	東柏ヶ谷近隣公園集合 国分寺台12バス停解散
7	11月28日(日) 9時～15時	第5回健康生き生きウォーキング 歴史散歩 (50人)	史跡ガイド ボランティア 井出 操ほか	海老名中央公園集合 中央公民館解散

*健康生き生きウォーキングは、2回目以降毎回、50円の保険料が必要で

便利です!「えびなメールサービス」

登録はebi-i@posh.jpあてメールを送信。詳しくは、市ホームページまたは情報システム課へ